

発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟
<http://dohekifuku.zenhkiren.net/>

委員長 温泉 敏
 編集責任者 中川 真人
 印刷所 山東印刷株式会社
 夕張郡栗山町中央2丁目245 TEL 0123-72-1151
 題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

私たちの「強み」を考え、 一歩でも半歩でも前に進みましょう

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 温泉 敏



令和3年度の総会において委員長に選出されました上川管内剣淵町立剣淵小学校の温泉でございます。

はじめに、今年度で退任された役員、研究推進委員の皆様、そして、なによりも各地区へき・複連の皆様には、本連盟を支えていただきましたことに感謝申し上げます。皆様のへき地・複式教育に対する熱意とご尽力に改めてお礼申し上げます。また、柿崎顧問、古田委員長と続いた委員長の任を引き受けることに、その責任の重さを強く感じています。

新型コロナウイルス感染症は私たちの諸活動を大きく変化させました。最も大きな変化はGIGAスクール構想による児童生徒一人一端末が整備されたことでしょう。オンラインによる授業が可能になったことはもちろん、授業での様々な活用と可能性が広がりました。

今年の1月には文科省から「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」と題した答申が出されました。サブタイトルには「～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～」とあります。この言葉には「誰一人取り残すことなく」というメッセージがあると

思います。「個別最適な学び」と「協働的な学び」はその両輪になるのだと思います。特に「個別最適な学び」は小規模校・複式校にとって実践に適した環境にあります。私たちが実践を進め、発信することができるのではないかと思います。

過日、NHKで放映されていましたが、全国へき地教育研究連盟と北海道教育大学が連携協定を結びました。この協定により、理論と実践の往還が可能となったり、大学にとって現場のニーズを把握する機会になったりします。今後の教員志望等にも関わることもあるかもしれません。

今年度開催を予定している全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会は第70回記念大会となります。多くの先輩方の努力により今日まで受け継がれてきた大会です。コロナ禍ではありますが、様々な工夫をし、何ができるかを考え、開催に向けて取組を進めていきたいと考えています。

結びに、道へき・複連と各地区連とが一体となった活動を推進するとともに、本年度もこれまで同様、北海道教育委員会をはじめ北海道教育大学等多くの関係諸機関との連携を図りながら本連盟の活動を充実させていきたいと思っております。これからは事業推進にご理解とご支援をお願い申し上げます。稿を閉じさせていただきます。

令和3年度 定期総会の概要

5月7日(金)、令和3年度北海道へき地・複式教育研究連盟の定期総会は、コロナ禍の影響により全道14地区をつないだリモート開催となりました。

総会は、オホーツク・十勝地区の小西・河井両代議員を議長に選出し、次第に沿って進められました。

また総会に引き続き役員・代議員を対象とした研修会を開催し、北海道教育大学 教職大学院教授 水上 丈実 様から「今後、求められるへき地・小規模校教育の在り方」と題してご講演をいただきました。

◇主な総会内容◇

1. 業務報告

- (1) 令和2年度会務報告
 - ①事務局（会務報告、一般経過報告、その他）
 - ②総務部 ③研究部 ④財政部
- (2) 令和2年度組織検討委員会報告
- (3) 令和2年度会計決算報告
- (4) 令和2年度会計監査報告

2. 議 事

- (1) 令和2年度各部会務報告承認に関する件
- (2) 令和2年度会計決算報告並びに監査報告承認に関する件
- (3) 令和3年度活動方針並びに各部活動計画について
 - ①事務局 ②総務部 ③研究部 ④財政部
- (4) 令和3年度会計予算に関する件
- (5) 第70回全道へき地複式教育研究大会 オホーツク大会について
- (6) その他

3. 感謝状贈呈

本連盟の活動に貢献されました方々に感謝状が贈呈されました。

研究部長	栗田 真 氏
財政部長	田中 貴人 氏
事務局次長	佐藤 正由 氏
監査委員	加藤 康德 氏
研究推進委員	谷口 大樹 氏
	前田 道弘 氏
	新井 真人 氏
	橋本 大 氏
	小玉 智士 氏

令和3年度 活動方針・各部計画

◇◇◇ 基本方針・具体的内容 ◇◇◇

1. 「へき地性」「小規模性」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図るための研究活動をより一層強力に推進する。

- (1) 第10次長期5か年研究推進計画3年目の研究に取り組む。
- (2) 課題別・共同研究の深化と拡充に努める。
- (3) 第70回全道へき地複式教育研究大会 オホーツク大会の成功に向けて取り組む。
- (4) 第71回全道へき地複式教育研究大会 胆振大会次年度実施の取組を推進する。
- (5) 全道、各地区の研究成果を還流する。

2. 組織の強化と充実に努める。

- (1) 各地区へき・複連との連携、組織の強化に努める。
- (2) 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活発化を図るとともに、組織体制の改善について検討する。
- (3) 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図り、その強化に努める。
- (4) 未加盟校及び非複式のへき地小規模校の加盟促進を図る。
- (5) 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。
- (6) 適切な予算執行に努める。

3. 教育条件の整備と拡充に努める。

- (1) へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。
- (2) 教職員の待遇改善を図る運動を進める。
- (3) 新へき地学校等級別指定に関わる 調査・要望活動を進める。
- (4) へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の課題等の実態把握に努め、その対策について検討を進める。

4. 関係機関・関係団体との連携を一層強化する。

- (1) 北海道教育委員会、北海道立教育研究所、道小、道中、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター、道教育大学各校、全へき連、道へき・複連OB会、道P連等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。
- (2) 「全へき連HP」への寄稿協力及び活用の啓発に取り組む。
- (3) 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。

令和3年度 諸会議・事業一覧

月	日	曜	会議・事業等
5	6	木	第1回常任委員会
	7	金	令和3年度定期総会 (リモート)
	26	水	第1回組織検討委員会 (延期) 全へき連旧理事会 (リモート) 第1回企画委員会 (リモート)
6	1	火	全へき連春季総会 (書面)
	11	金	道へき・複連情報170号発行 全へき連第1回図書編纂委員会 (リモート)
	17	木	全へき連第1回理事会 (リモート)
	18	金	第1回研究推進委員会 (リモート)
22	火	第2回常任委員会	
7	12・13	月・火	第2回企画委員会 第2回研究推進委員会
8	2	月	第3回常任委員会 第2回組織検討委員会
9	7・8	火・水	全へき連第2回理事会
	15	水	第4回常任委員会 第3回研究推進委員会 第1回監査委員会
	16	木	評議委員会
16・17	木・金	第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会	
10	27	水	全へき連第3回理事会/秋季総会
	28・29	木・金	第70回全へき研宮崎大会
11	12	金	道へき・複連情報171号発行
	24	水	全へき連ブロック代表者会議 (第4回理事会)
25・26	木・金	全へき連第2回図書編纂委員会 第47回全へき連研究推進協議会	
1	24	月	第5回常任委員会
	28	金	第3回組織検討委員会 全へき連第3回図書編纂委員会
2	10	木	道へき・複連情報172号発行
	14・15	月・火	第3回企画委員会
17・18	木・金	第4回研究推進委員会 全へき連第5回理事会	
5	12	木	第6回常任委員会
	13	金	第2回監査委員会 令和4年度定期総会

1. 情報関係活動計画

(1) 方針と重点

道へき・複連の活動状況の周知と会員の意思疎通を図るため、へき地・複式教育の糧となる情報誌「道へき・複連情報」を発行するとともにホームページの内容充実に努める。

- ① 執筆者に負担とならないよう配慮する。
- ② 年3回発行し、連盟の活動と全道の研究の様子が伝わる情報誌になるよう工夫する。
- ③ ホームページの内容充実に有効活用を図る。

(2) 活動計画

- ① 道へき・複連情報170号の発行
 - ・発行日 令和3年6月11日 (金)
 - ・内容 令和3年度総会特集、オホーツク大会案内
- ② 道へき・複連情報171号の発行
 - ・発行日 令和3年11月12日 (金)
 - ・内容 第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会特集
- ③ 道へき・複連情報172号の発行
 - ・発行日 令和4年2月10日 (木)
 - ・内容 令和3年度活動報告特集

2. 全国へき地教育研究連盟関係

(1) 方針と重点

本道のへき地・複式教育は、全国のへき地・複式教育の先導的役割を果たしていることから、教育情報を全国に発信するとともに、全国のへき地教育の動向や現状についての情報交流を図る。また、全国へき地教育研究連盟HPの啓発および原稿執筆依頼等の業務を遺漏のないように推進する。

(2) 活動計画

- ① 「全国へき地教育研究連盟HP」の啓発
- ② 「全国へき地教育研究連盟HP」執筆の取組

【原稿種別】

- ・ 論評 (市町村教育長、各局指導主事等)
- ・ 山紫水明 (校長)
- ・ 保健室より (養護教諭)
- ・ 事務室より (事務職員)
- ・ 研究実践校紹介 (実践校)
- ・ 若者の広場
- ・ 学習指導案

総務部

1. 方針

道へき・複連の目的に沿って、各地区へき地・複式教育研究団体の活動を促進し、関係団体との連携を密にする。また、調査活動の充実を図り、道へき・複連の組織強化と適正な運営に努め、本道へき地・複式教育の振興に寄与する。

2. 活動内容

- (1) 各地区との連携
- (2) へき地教育に関する調査
 - ※全へき連基本調査への協力
- (3) 道へき・複連独自調査の実施
 - ※へき地・小規模・複式校における課題と対策に関わる調査
- (4) 陳情、要請活動
 - ※全へき連、道教委、道研、地教委 等
- (5) 関係機関との連携
 - ※道小指名理事としての活動
- (6) 道へき・複連組織に関わる課題検討
- (7) その他、各部に属さないこと

3. 具体的活動

- (1) 全へき連関係
 - ① 全へき連との連携を密にし、組織強化と研究推進に関して道へき・複連の要望が生かされるように努める。
 - ② へき地・複式教育の条件整備と待遇改善の取組をより強化し、本道の実態に即した振興策に反映するよう努める。
 - ③ 定数改善（専任教頭及び養護教諭、事務職員の全校配置）に向けて、陳情、要請活動を関係機関・団体に対して強く行う。
 - ④ 全へき連基本調査への協力
 - ※実態・根拠に基づく条件整備の実現に向けて
- (2) 道へき・複連関係
 - ① 組織の活性化、加盟促進を目指し、へき地複式教育や道へき・複連の活動についての情報提供・交流に努める。
 - ② 組織検討委員会を設け、道へき・複連の組織上の問題、全へき連負担金納入の適正化等についての検討を行う。
 - ③ 関係機関・団体との連携・協力を一層強化する。
 - ※道教委、道小、道中、道研、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター、道P連 等
 - ※へき地教育講座（遠隔システム）への積極的参加
 - ④ 未加盟校のある地区の実態を考慮しながら加盟促進を図る。
 - ⑤ 地域の課題とその対策等の調査を実施する。
 - ⑥ 次回のへき地指定級見直しに向け、道教委の動きを注視しつつ、関係機関・団体との連携を図る。
- (3) その他
 - ① 道へき・複連事務局や各地区との連携を図り、事業の推進に努める。
 - ② 道小の指名理事として、道小理事研修会に出席し、道小と道へき・複連との連携を図る。

研究部

1. 研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

2. 活動の重点

- (1) 各種研究大会への協力と情報の提供
- (2) 第10次長期5か年研究推進計画の推進及び実践記録の蓄積・収集
- (3) 研究資料等の編集と発行
- (4) 各地区へき・複連及び教育関係機関・団体等との連携

3. 具体的活動内容

- (1) 「第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会」の開催と共同運営
 - ① 現地実行委員会との緊密な連携・協力
 - ② 準備・構想等の分担と協力体制の構築
 - ③ 分散会の企画・運営・実施
 - ④ 大会の共同運営
- (2) 次年度開催「全道へき地複式教育研究大会胆振1stステージ大会（仮称）」への協力と情報提供
 - ① 関係機関・団体との連携
 - ② 準備・運営等の協力と支援、共同研究者
- (3) 共同研究体制の強化と実践研究の充実
 - ① 研究推進委員長を中心とする研究組織体制の確立
 - ② 研究推進委員会、企画委員会の効果的運営
 - ③ 各地区へき・複連研究活動への協力
 - ④ 未加盟校等への共同研究参加の呼びかけ
- (4) 第10次長期5か年研究推進計画の推進
 - ① 各大会の成果・課題と実践事例等の収集
 - ② 地区へき・複連の研究活動等の蓄積と交流
- (5) 研究資料の編集と発行
 - ① 道へき・複連「研究部情報」の発行
 - ② 道へき・複連研究主題等の一覧表の作成
 - ③ 全国へき地教育研究連盟発刊図書への協力
- (6) 教育関係各機関・団体等との連携
 - ① 北海道教育委員会、各教育局、教育研究所、北海道教育大学等との連携
 - ② 全国へき地教育研究連盟との連携
 - ・「第70回全国へき地教育研究大会宮崎大会」への協力と情報提供
 - ・全へき連研究図書編纂委員会
 - ・全へき連研究推進協議会

令和2年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計 決算報告

令和3年3月31日現在

【収入の部】

※増減は予算比

項目	令和2年度予算	令和2年度決算	増(△)・減(▲)	備考
会費	2,974,704	3,057,180	△ 82,476	令和2年度加盟校226校, 加盟会員1450名
繰越金	336,637	336,637	△ 0	2019年度繰越金
繰入金	600,000	600,000	△ 0	運営資金会計から
助成金	250,000	280,000	△ 30,000	弘済会より
雑収入	30	324,082	△ 324,052	預金利息@37 檜山大会残@321,045
合計	4,161,371	4,597,899	△ 436,528	

【支出の部】

※増減は予算比

項目	令和2年度予算	令和2年度決算	増(△)・減(▲)	備考
1. 研究大会費	460,000	460,000	△ 0	※オホーツクプレ大会
1. 大会運営	250,000	250,000	△ 0	プレ大会運営費
2. 印刷製本	200,000	200,000	△ 0	研究紀要、研究収録
3. 事務局費	10,000	10,000	△ 0	事務局運営費
2. 研究調査費	1,620,000	936,280	▲ 683,720	
1. 旅費	1,600,000	916,280	▲ 683,720	企画委員会、研究推進委員会、弘済会助成金含
2. 印刷製本	10,000	10,000	△ 0	用紙代・CD-R等
3. 通信運搬	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
3. 研成刊行費	212,000	142,780	▲ 69,220	
1. 印刷製本	210,000	141,900	▲ 68,100	『情報』誌
2. 通信運搬	2,000	880	▲ 1,120	振込手数料(2回)
4. 事務局費	1,869,371	1,307,716	▲ 561,655	
1. 旅費	1,050,000	1,039,780	▲ 10,220	総会、常任委、組織検討委
2. 消耗品費	10,000	10,000	△ 0	総会等用紙代
3. 通信運搬	30,000	30,000	△ 0	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	100,000	82,104	▲ 17,896	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	30,000	△ 0	会計手当
6. 記念誌	30,000	30,000	△ 0	
6. 予備費	619,371	85,832	▲ 533,539	議案製本、感謝状、名刺等
合計	4,161,371	2,846,776	▲ 1,314,595	

収入 支出 残金
4,597,899円 - 2,846,776円 = 1,751,123円

残金については、次年度へ繰り越します。

令和3年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計予算案

※増減は前年度予算比

【収入の部】

項目	令和2年度予算	令和2年度決算	令和3年度予算	増(△)・減(▲)	備 考
会 費	2,974,704	3,057,180	2,968,092	▲ 6,612	令和3年度加盟校222校, 加盟会員1402名
繰 越 金	336,637	336,637	1,751,123	△1,414,486	令和2年度繰越金
繰 入 金	600,000	600,000	600,000	△ 0	運営資金会計から
助 成 金	250,000	280,000	280,000	△ 30,000	弘済会助成金
雑 収 入	30	324,082	30	△ 0	預金利息
合 計	4,161,371	4,597,899	5,599,245	△1,437,874	

【支出の部】

項目	令和2年度予算	令和2年度決算	令和3年度予算	増(△)・減(▲)	備 考
1. 研究大会費	460,000	460,000	1,450,000	△ 990,000	※オホーツク大会・プレ大会 45万 ※胆振プレ大会・本大会 100万
1. 大会運営	250,000	250,000	840,000	△ 590,000	※オホーツク大会 25万 ※胆振プレ大会・本大会 59万
2. 印刷製本	200,000	200,000	600,000	△ 400,000	研究収録等 ※オホーツク本大会 20万 ※胆振プレ大会・本大会 40万
3. 事務局費	10,000	10,000	10,000	△ 0	事務局運営費(胆振大会)
2. 研究調査費	1,620,000	936,280	1,620,000	△ 0	
1. 旅 費	1,600,000	916,280	1,600,000	△ 0	企画委員会、研究推進委員会等、弘済会助成金
2. 印刷製本	10,000	10,000	10,000	△ 0	用紙代、CD等記録媒体代
3. 通信運搬	10,000	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
3. 研成刊行費	212,000	142,780	242,000	△ 30,000	
1. 印刷製本	210,000	141,900	240,000	△ 30,000	情報誌印刷送送料
2. 通信運搬	2,000	880	2,000	△ 0	振込手数料(3回)
4. 事務局費	1,869,371	1,307,716	2,287,245	△ 417,874	
1. 旅 費	1,050,000	1,039,780	1,350,000	△ 300,000	総会、常任委、組織検討委等
2. 消耗品費	10,000	10,000	10,000	△ 0	用紙代等
3. 通信運搬	30,000	30,000	30,000	△ 0	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	100,000	82,104	100,000	△ 0	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	30,000	30,000	△ 0	会計手当
6. 記 念 誌	30,000	30,000	30,000	△ 0	80周年記念誌に向けての積立
7. 予 備 費	619,371	85,832	737,245	△ 117,874	議案製本、感謝状、名刺、等
合 計	4,161,371	2,846,776	5,599,245	△1,437,874	

総会の様子（リモートによる開催）



北海道へき地・複式教育研究連盟温泉敏委員長の挨拶



水上丈実様による役員・代議員研修会

役員・代議員研修会概要

総会后、「役員・代議員研修会」が開催されました。北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター員 水上丈実様より、「今後、求められるへき地・小規模校教育の在り方」について各校の実践事例の紹介を交えながら、ご講演いただきました。概要は次の通りです。

1 道教委「学力向上・授業改善推進事業」指定校の取組から

- ・ 課題意識として、教科レベルのコンピテンシー・ベースの実現の困難さがある。極論として社会科で単元を貫く課題を解決するために教科書や資料集から自分が必要な知識を選択・収集し一つの概念を見出す、そこで児童生徒が収集した知識はばらばらであってよい。但し、交流は必要である。
- ・ 「学校の当たり前は当たり前のものでよいのか。」各校で新しい理論を取り入れるのは難しいが、「学びのメタ認知能力の育成」は重要である。

2 道教委「道徳教育推進校」指定校の取組から

- ・ 道徳の授業はなぜ問題解決型なのか。心情主義的道徳には、当たり前のことを扱う困難さがある。まず、教師が深い内容項目（価値）理解をしなければならない。そのために、解説編の熟読が必要である。

3 へき地・小規模校の特性を生かした学力向上・授業改善策の4つの提案

【提案1】指導観・授業観・評価観そしてカリキュラム・マネジメントの一体改革を！

- ・ コンピテンシー・ベースの教育への転換は、へき地・小規模校が率先垂範して行っていくべきである。（一人一人の児童生徒が見えているからこそ）

【提案2】学習の主体者としての育成を！

- ・ 「授業⇒宿題・家庭学習⇒授業」という学びの連続性が成立するための指導の工夫を進めていく。

【提案3】学年別指導のハードルの高さの払拭を！

- ・ 大胆な発想で学年別指導の改善を行う。

【提案4】遠隔で同学年単式授業の実践を！

- ・ 遠隔教育がパラダイム転換を加速させる。

第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会 オホーツクの地でお待ちしています

第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会 実行委員長 小西 政策

■研究主題 「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」
～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす
学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

■オホーツク大会スローガン

「オホーツクの大地に育つ子どもへ 未来を切り拓き 夢を実現する学びを」

■大会日程

《1日目》9月16日(木) 北見市民会館 北見市常盤町2丁目1

12:30～13:00	13:00～13:40	13:50～15:00	15:10～16:40	16:50～17:10
受付	開会式	記念講演	分散会	閉会式

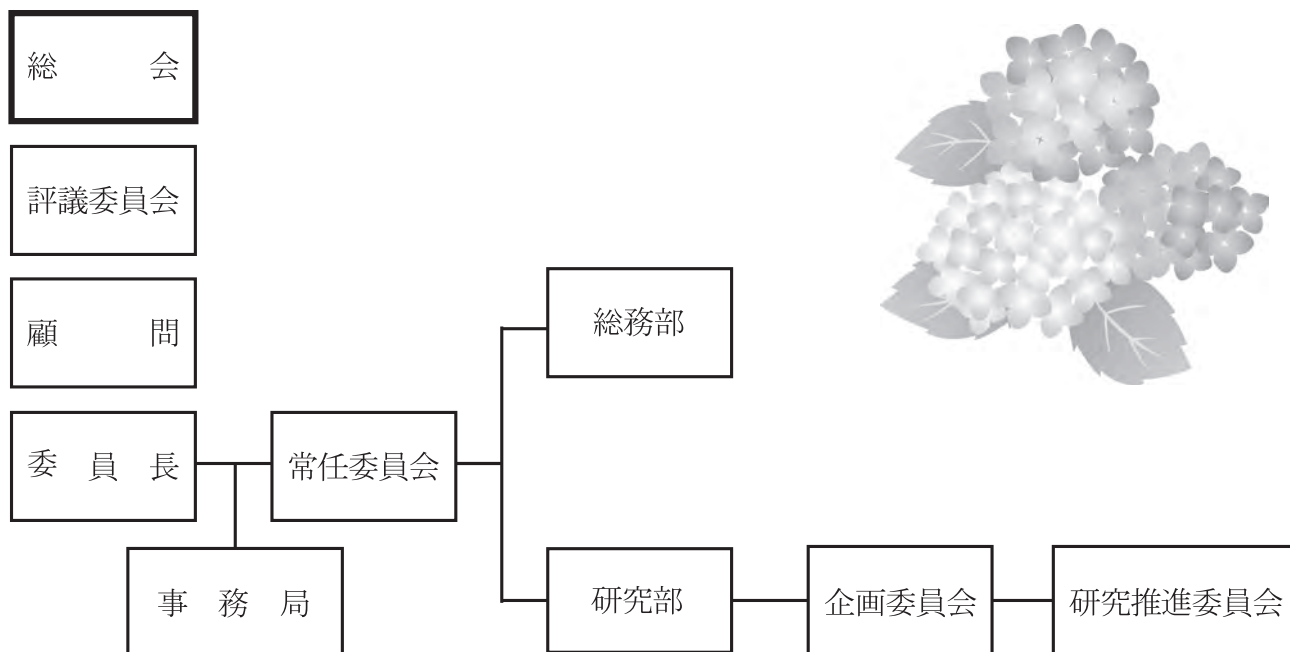
《2日目》9月17日(金) 基本形は下記の通りですが、会場により変更になる場合があります。

8:30～9:00	9:00～9:45	10:00～10:45	11:00～12:00	12:00～13:00	13:00～15:10	15:10～15:40
受付	授業公開Ⅰ	授業公開Ⅱ	開会式 研究発表	昼食	研究協議	閉会式

◇会場校及び研究主題等一覧

分科会	会場校名 校長名 電話番号 メールアドレス	研究主題 ～副主題～	分野・課題 教科等
第1分科会	佐呂間町立若佐小学校 菅原正弘 01587-2-8108 wakasashou-no2@educet03.plala.or.jp	「自ら学び共に高め合う子どもの育成」 ～「学習ガイド」を活用した間接指導の充実～	学習指導 5・6 全教科
第2分科会	湧別町立開盛小学校 山口幸一 01586-2-5204 kai-ko@h.phoenix-c.or.jp	「グローバル社会で生きる英語力を育む」 ～英語に慣れ親しむ活動の充実と活用する力の育成～	学校・学級経営 2 学習指導 5 外国語
第3分科会	滝上町立濁川小学校 宮寄智 0158-29-2319 nigoshou02@educet01.plala.or.jp	「学び方を身につけ、意欲的に表現・伝え合う ことを通し、学びを深める子どもを育む」 ～少人数・複式学級における算数科の授業づくりを通して～	学校・学級経営 1 学習指導 5・6 算数
第4分科会	雄武町立沢木小学校 與板博志 0158-85-2222 omsawaki-1st.adr@oumu.ed.jp	「主体的に課題に向かい、 対話を通して学びを深める子どもの育成」 ～複式・算数科の授業を通して～	学校・学級経営 1 学習指導 5・6 算数
第5分科会	北見市立上仁頃小学校 浜崎成巳 0157-33-2312 ktm-kaminikoro-s1@hokkaido.school.ed.jp	「ふるさとに誇りをもち 自分自身を信じ成長し続ける子どもの育成」 ～主体的・協働的な深い学びのある授業を目指して～	学校・学級経営 2 学習指導 5 外国語
第6分科会	北見市立豊地小学校 畠山淳 0157-36-4721 ktm-hoji-s2@hokkaido.school.ed.jp	「ふるさとに誇りをもち、 主体的に学びを深める児童の育成」 ～複式学級の特徴を生かした授業づくり・集団づくり～	学校・学級経営 3 学習指導 6 外国語

北海道へき地・複式教育研究連盟の組織



令和3年度 北海道へき地・複式教育研究連盟 役員名簿

役職名	氏名	地区	学校名	電話番号
顧問	柿崎 秀 顕 (全へき連会長)		洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校	0142-75-2476
	古田 統 (前道へき複委員長)		ニセコ町立近藤小学校	0136-44-2852
委員長	温泉 敏	上川	剣淵町立剣淵小学校	0165-34-2116
副委員長	総務部長 小野田 年 克	十勝	鹿追町立通明小学校	0156-67-2466
	研究部長 森 広 明	上川	士別市立多寄小学校	0165-26-2151
監査委員	渡辺 二 夫	胆振	白老町立竹浦小学校	0144-87-2118
	尾花 靖 宏	空知	岩見沢市立メープル小学校	0126-44-2205
財政部長	松原 謙 二	石狩	千歳市立駒里小中学校	0123-23-3237
事務局長	井上 隆 一	上川	占冠村立占冠中央小学校	0167-56-2824
事務局次長	中川 真 人	後志	喜茂別町立鈴川小学校	0136-33-6302



令和3年度 各地区へき・複連 委員長／事務局長

地区	委員長(会長)		事務局長		
	氏名	学校名	氏名	学校名	電話番号
石狩	生田 康人	江別市立北光小学校	鈴木 直道	千歳市立支笏湖小学校	0123-25-2729
空知	新保 秀樹	栗山町立継立小学校	柏木 哲也	岩見沢市立メープル小学校	0126-44-2205
後志	荒木 俊行	神恵内村立神恵内小学校	道場 伸哉	寿都町立潮路小学校	0136-64-5003
渡島	船橋 恭二	知内町立涌元小学校	山内 淳禎	森町立駒ヶ岳小学校	01374-5-2243
檜山	本谷 弘之	せたな町立若松小学校	北川 美香	今金町立種川小学校	0137-82-0506
胆振	渡辺 二夫	白老町立竹浦小学校	中島 勉	安平町立安平小学校	0145-23-2266
日高	加渡 三之	浦河町立堺町小学校	高橋 郁子	様似町立様似小学校	0146-36-3351
上川	温泉 敏	剣淵町立剣淵小学校	森 広明	士別市立多寄小学校	0165-26-2151
留萌	村井 亨	小平町立鬼鹿小学校	安居 和	初山別村立初山別小学校	0164-67-2451
宗谷	小島 康秀	稚内市立大岬小学校	黒木 敏郎	稚内市立天北小中学校	0162-74-2414
オホーツク	小西 政策	雄武町立豊丘小学校	田中 法義	北見市立若松小学校	0157-22-3661
十勝	小野田年克	鹿追町立通明小学校	河井 義徳	幕別町立明倫小学校	0155-57-2306
釧路	下山 孝善	釧路町立昆布森小学校	小林 香織	白糠町立茶路小中学校	01547-2-2797
根室	菅原 晋	別海町立上春別小学校	岡部 臣也	根室市立花咲港小学校	0153-25-8859

令和3年度 道へき・複連 研究推進委員

道へき・複連研究部長 森 広明(士別市立多寄小学校) TEL 0165-26-2151

地区	役・担当	氏名	学校名	電話番号
石狩	学習指導部員	丸山 真嗣典	石狩市立厚田学園	0133-77-5356
空知	学校・学級経営部員	千石 正巳	深川市立北新小学校	0164-23-3480
後志	学校・学級経営部員	土屋 茂	積丹町立日司小学校	0135-45-6075
渡島	学校・学級経営部長	三宅 貴裕	北斗市立島川小学校	0138-77-8625
檜山	学校・学級経営部員	黒川 貴功	今金町立種川小学校	0137-82-0506
胆振	学習指導部員	近藤 大作	伊達市立関内小学校	0142-23-2660
日高	研究推進委員長	加渡 三之	浦河町立堺町小学校	0146-22-2391
上川	学習指導部員	池田 幸則	中富良野町立西中小学校	0167-44-2062
留萌	研究推進副委員長	村元 隆一	留萌市立港北小学校	0164-42-0335
宗谷	研究推進副委員長	駒井 崇	枝幸町立音標小学校	0163-66-1073
オホーツク	学習指導部員	堀田 大次郎	北見市立相内小学校	0157-37-2824
十勝	学校・学級経営部員	増田 覚	音更町立東士幌小学校	0155-43-2311
釧路	学習指導部長	斉藤 直彦	標茶町立塘路小中学校	015-487-2140
根室	学習指導部員	伊藤 秀則	別海町立上風連小学校	0153-75-7102